

令和4年度 第1回港区区政会議 「事前意見内容と区役所の対応・考え方」

番号	部会	担当課	ご意見内容	区役所の対応・考え方
1	防災・防犯部会	協働まちづくり推進課（安全・安心）	・防災リーダーの育成の件ですが、地域と合わせて、入隊の窓口を区役所、港消防署の地域担当の方で受付をして頂けないでしょうか。 ・防災リーダーに興味を持っていた時、質問や内容、もっと知りたい時の相談役として公の機関が間に入られると、安心されると思います。そして、入隊希望者の連絡を隊長に入れて頂くと、スムーズに入隊者も増えると思うのですが、いかがでしょうか。	・防災リーダーは、地域に根ざした方々になっていただいております。現在、地域活動協議会を通して推薦をいただいております。 ・防災リーダーについての問い合わせや質問については、区役所や消防署でも受け付けており、その際、防災リーダーになりたいとの希望があれば、地域活動協議会につなぐようにしています。今後とも、防災リーダーの周知に務め、登録者数を増やしてまいります。 【連絡先：港区役所協働まちづくり推進課（防災担当）：6576-9881】
			「令和4年度の地域防災活動の取り組みについて」より ・2次避難計画の港区からの避難ルートの件です。津波浸水後のルートは避難民の殺到が予測されますので、移動ルートを幾通りか提案して頂けたらと思います。 ・受け入れ先の区で、規模や状況にもよりますが、第1避難先区、第2避難先区の方に、避難元区（港区）の避難区民がゴールとして入られる場所（天王寺スポーツセンター？）が決まっていれば教えて頂きたいです。当事区も避難場所が必要だと思しますので、たどり着いても入れる場所が無ければ途方にくれると思います。 ・また、港区が他の区からの避難者を受け入れる事になった場合、受け入れ場所を考えていますか。	・2次避難は、各個人がそれぞれに避難するのではなく、避難元の小学校単位（町会単位）で避難先へ向かいます。その際、避難元小学校によっては、複数の避難先に2次避難するケースがありますが、現時点では、非常時であり、道路啓開されていると想定される幹線道路や大規模街路などを使った最短ルートを1つ、避難経路として策定しています。今後、歩行訓練等を通して、出てきた課題を整理することで、複数のルートになる可能性はあります。 ・既に避難元の小学校単位で、想定避難先の施設等を決めています。実際の発災時には、避難する前に避難する人数を確定させ、避難先区に連絡を入れ、収容可能人数を確認することになっています。 ・今回の2次避難計画は、南海トラフ巨大地震等で津波が発生した場合を想定しています。直下型地震である、上町断層帯地震等についての2次避難的な計画はまだ策定していませんが、同様の考え方に基づけば、中学校等の施設を受入れ場所とすることが想定されます。